

# 営 農 計 画 書

## 記入例

※具体的に記入してください。

農地等にかかる権利の取得の目的及び経営の方針	新規就農にあたり、新たに農地を耕作する権利を取得して効率的な営農を行う。
作目及び利用計画	水稻を作付けするほか、ブロッコリーを栽培する。 将来はさらに規模拡大し、他の品種も作付けする。
必要な作業及びその従事者並びに労力の確保の方法	耕起から収穫までの一連の作業を夫婦で行う。 申請地取得後の農作業従事日数は、本人200日、妻150日の予定。 繁忙期には、同じ集落の農家の応援を要請する。
通作の距離、時間及び方法	申請地は、自宅から7km程度の距離にあり、車で10分程度である。 通作には、軽トラックを利用する。
農機具の保有状況、購入予定及び保管場所	トラクター1台、コンバイン1台、田植え機1台、乾燥調整機1台、防除機1台、管理機1台、軽トラック1台 詳細は別紙「農機具・農業用施設等保有状況調書」(様式第2号)参照。農機具は、自宅の農機具格納庫に保管する。
農作物の出荷先	JA〇〇に出荷するほか、〇〇スーパー、〇〇直売所で販売する。
農業協同組合及び農業共済組合への加入状況(予定)	JA〇〇及び〇〇共済組合に加入している。
周辺地域における農地等の利用に対する影響及びその調整の状況	水利組合に加入し、水利調整を図る予定。
地域の農業における他の農業者との役割分担の計画	別紙、誓約書(様式第1号)のとおり
その他参考となるべき事項	JAの指導員の営農指導を受ける。

注 「その他参考となるべき事項」欄は、農作業の経験がない場合の技術の取得の方法、所有権の移転と利用権の設定を併せて行う場合の理由等を記入すること。